

平成17年度の伊万里市予算

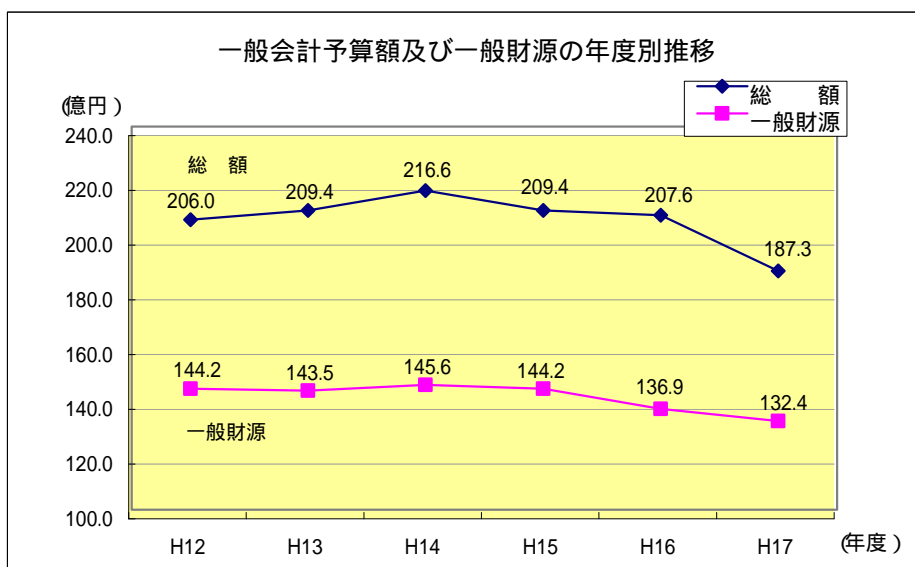
一般会計・・・当初予算総額187億3400万円

平成17年度の伊万里市一般会計当初予算は、総額で187億3400万円となっています。

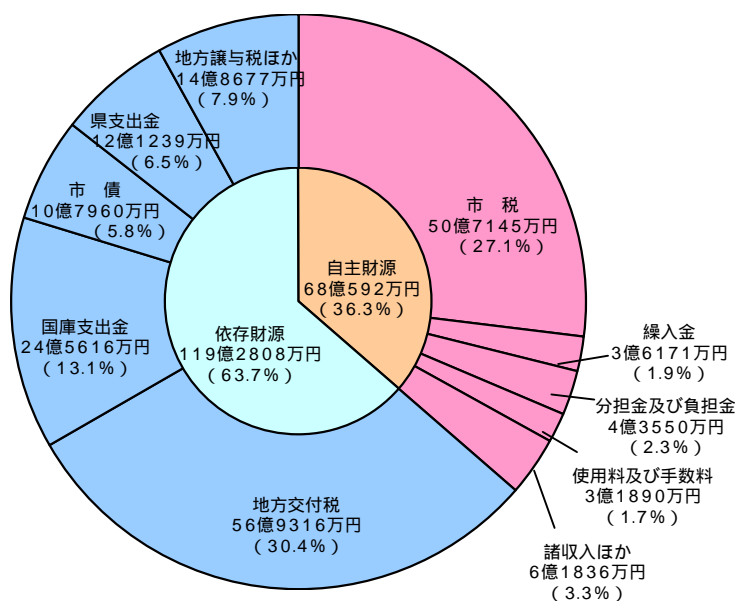
これは、平成16年度の一般会計当初予算と比較すると、総額では 9.8%の大幅な減少となりましたが、歳出予算に必要な一般財源では 3.3%の減少になんとかとどまりました。

これは、景気低迷で市税の伸びが見込めないうえに、三位一体改革の影響で、臨時財政対策債が 36.2%、国庫支出金が 5.9%、県支出金が 42.4%と大幅に減少したことが主な要因となっています。

このようななか、平成17年度の伊万里市一般会計当初予算では、投資的経費を 45.5%と大幅に縮減するなど、いわゆるハード事業については、緊急性や投資効果の高いものを優先する一方、市民との協働という視点を強化しながら、未来に大輪の花を期待できる芽となるような事業へ積極的な予算配分を行い、市民満足度の維持、向上を目指す、いわば「未来志向型」予算編成に努めたところです。その概要は次のとおりです。

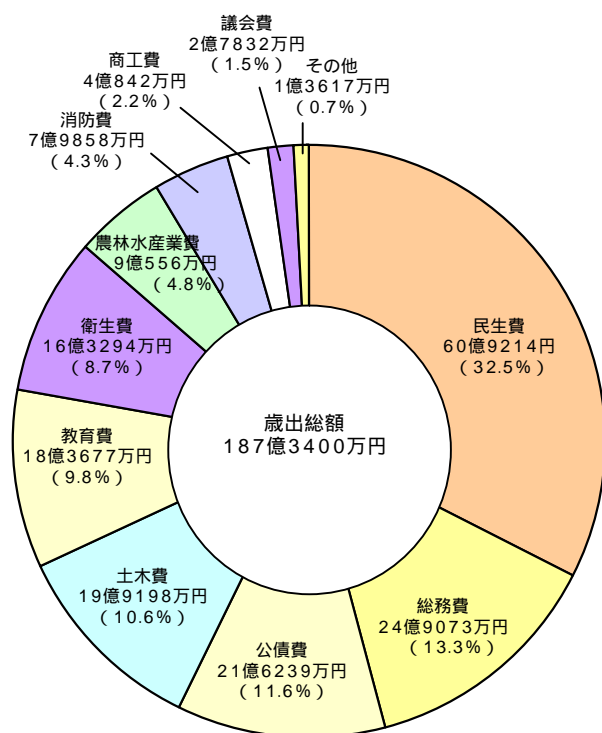


一般会計 <歳入>



市税	個人と法人の市民税、固定資産税、軽自動車税などです
繰入金	基金や特別会計からの繰入金です
分担金・負担金	災害復旧事業の負担金、保育所の入所負担金などです
使用料・手数料	施設の使用料、戸籍や住民票の謄本の手数料などです
諸収入	貸付金の元利収入や預金利子などです
地方交付税	国が徴収した税金から、地方公共団体が等しく事務を進められるよう一定の基準で交付されるものです
国庫支出金	国からの負担金や補助金です
市債	市が行う事業の財源として、国や金融機関などから借り入れる借入金です
県支出金	県からの負担金や補助金です
地方譲与税ほか	国が徴収した税金から譲与されるものです

一般会計 <歳出>



民生費	社会福祉や児童福祉、生活保護などの経費で、市民の安定した社会生活を保障するための経費です
総務費	企画、男女協働、国際交流など、おもに企画・総務部門に要する経費です
公債費	借入金の返済に要する経費です
土木費	道路、河川、住宅、公園、市街地などの整備や維持管理に要する経費です
教育費	小・中学校の学校教育をはじめ、社会教育や保健体育など教育全般の経費です
衛生費	保健衛生や、ごみ収集・処理などに要する経費です
農林水産業費	農林水産業の振興に要する経費です
消防費	火災など災害に対応するための経費です
商工費	商工業や観光の振興に要する経費です
議会費	議会運営に要する経費です
其他	災害復旧費、労働費、諸支出金などです

特別会計・・・当初予算総額188億690万円

事業を行うとき、特定の収入をもってその支出に充て、一般会計と区分して経理する必要がある場合に特別会計を設けています。

平成17年度は、表1のとおり8つの特別会計を設けて事業を実施します。これら特別会計の平成17年度当初予算総額は、188億690万円となり、一般会計当初予算総額を逆転しています。

<表1>

(単位：千円)

特別会計名	予算額	会計の内容
国民健康保険	5,823,965	国民健康保険税や国庫支出金を主な財源として、医療給付を行うための会計です
介護保険	3,985,786	介護保険料や国庫支出金を主な財源として、介護サービスを行うための会計です
立花台地開発事業	13,793	公共事業に伴う代替地供給を目的とした、宅地開発を行うための会計です
公共下水道事業	2,521,013	快適な生活環境の実現をめざし、下水道整備を行うための会計です
農業集落排水事業	121,987	農村地域の快適な生活環境の実現をめざし、排水事業を行うための会計です
駅周辺土地区画整理事業	7,081	伊万里駅周辺の道路、駅前広場などの整備を進めるための会計です
市営駐車場	17,897	中心市街地や商店街への来訪者の利便を図る目的で設置している市営駐車場の会計です
老人保健	6,315,381	高齢者を対象に医療給付を行うための会計です
合計	18,806,903	

企業会計

経営成績を明確にするため、市は3の公営企業を設けています。それぞれの会計ごとの予算額は表2のとおりです。

<表2>

(単位：千円)

企業会計名	収益的収支	資本的収支		会計の内容
		収入	支出	
水道事業	1,359,266	556,381	989,078	安心して飲める水を供給するため、水道使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です
工業用水道事業	423,013	130,267	238,352	工業用水を供給するため、使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です
病院事業	1,207,527	105,183	105,212	市民の健康保持に必要な医療提供のため、診療報酬などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です

市債現在高

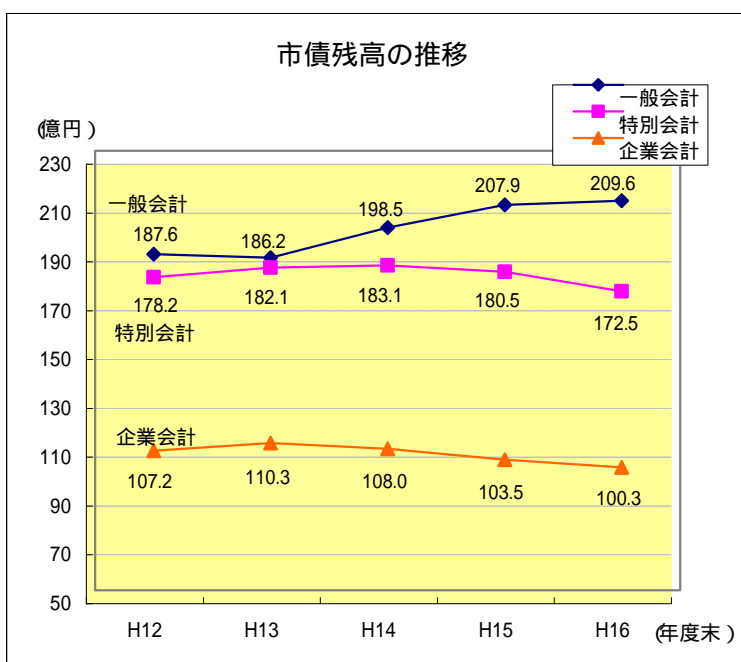
市が行う建設事業などの財源として、国や県、金融機関などから借り入れている市債の現在高は表3のとおりです。

<表3>

(単位：千円)

会計名		現在高(見込) (平成16年度3月補正現在)
一般会計		20,961,396
特別会計	公共下水道事業	15,555,479
	農業集落排水事業	1,691,912
	小計	17,247,391
企業会計	水道事業	4,567,977
	工業用水道事業	5,178,763
	病院事業	282,172
	小計	10,028,912
合計		48,237,699

市債残高の推移



平成17年3月31日現在です

主な借入先は、総務省、郵政公社、公営企業金融公庫、佐賀県ほか市中金融機関などです